

# MAENAN SAH Journal Vol.45 May. 30th, 2024

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

## ★教育 YouTuber 葉一さんって知ってますか？★

5月2日（木）に、葉一（はいち）さんの講演会に行ってきました！今回は吉岡町教育委員会主催の講演会であり、吉岡町文化センターで行われたものです。もしかすると『よく見ている！』『お世話になっている！』という生徒さんもいるかもしれませんね！



葉一さんは、群馬県出身のYouTuberで『とある男が授業をしてみた』という授業動画チャンネルを運営している方です。私がこの文章を書いている時点でのチャンネル登録者数は、なんと『201万人』であり、これまでに『4,542本』の動画を投稿しています。2020年には、TBSテレビの『情熱大陸』でも紹介された方です。すごいですね！

群馬県教育委員会が『非認知能力の育成』のための『専門家委員会』を設置していますが、葉一さんはそのメンバーのおひとりでもあるため、本校とも関連性がある方といってもよい方なのです！いつか葉一さんにも本校にお越しただけいたらありがたいですね。



### とある男が授業をしてみた。

@toaruotoko · チャンネル登録者数 201万人 · 4542本の動画

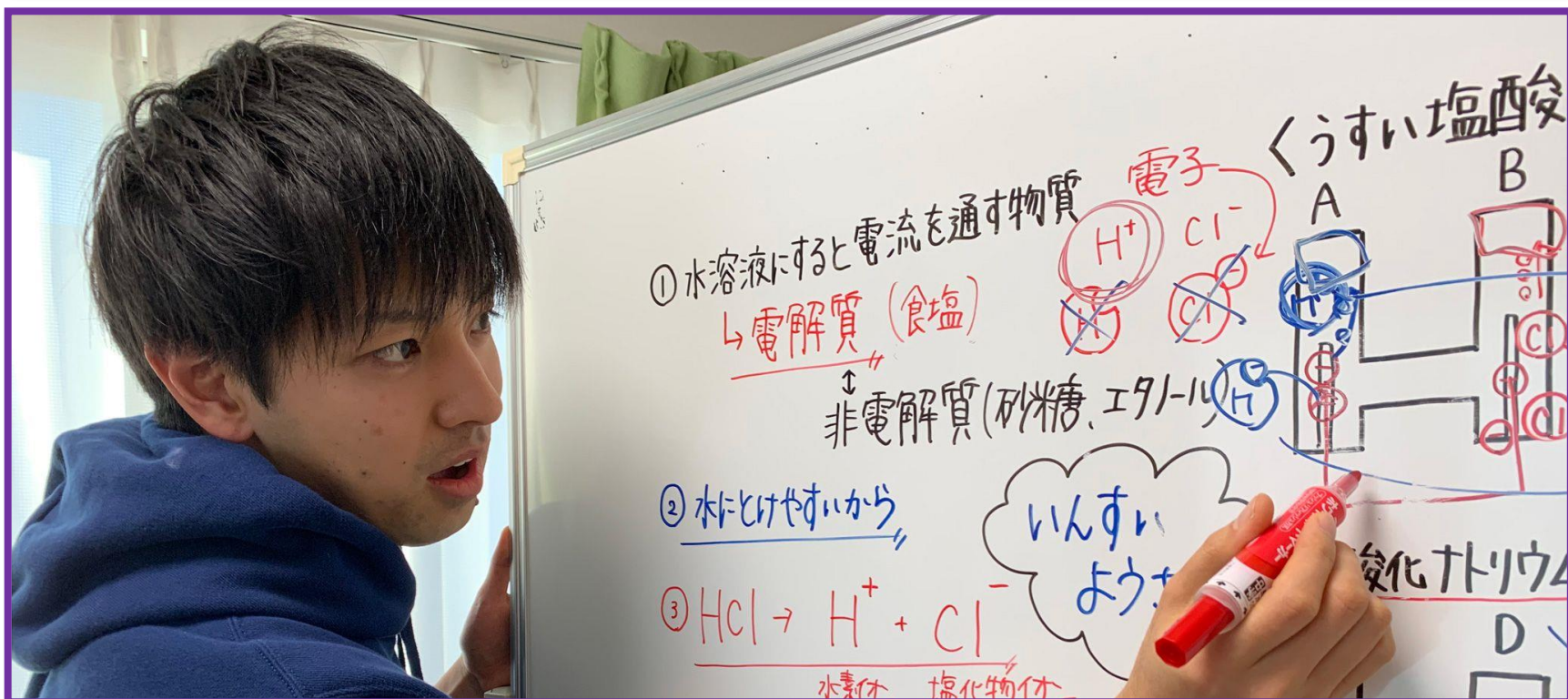
動画をご覧頂き、ありがとうございます！ >

チャンネル登録

### 高校数学（数Ⅱ・数B・数Ⅲ）

すべて表示

<b>数Ⅱ 第1回</b> 3次式の展開と因数分解 ⇒ 22本の動画	<b>数Ⅱ 第23回</b> 複素数① ⇒ 28本の動画	<b>数Ⅱ 第51回</b> 点と直線① ⇒ 36本の動画	<b>数Ⅱ 第87回</b> 一般角と弧度法 ①～③ ⇒ 36本の動画	<b>数Ⅱ 第123回</b> 指数の増減① ⇒ 21本の動画	<b>数Ⅱ 第144回</b> 微分係数と導関数① ⇒ 35本の動画
高校(数Ⅱ)1【式と証明】 とある男が授業をしてみた・プ... 再生リストの全体を見る	高校(数Ⅱ)2【複素数と方程式】 とある男が授業をしてみた・プ... 再生リストの全体を見る	高校(数Ⅱ)3【図形と方程式】 とある男が授業をしてみた・プ... 再生リストの全体を見る	高校(数Ⅱ)4【三角関数】 とある男が授業をしてみた・プ... 再生リストの全体を見る	高校(数Ⅱ)5【指数関数・対数関数】 とある男が授業をしてみた・プ... 再生リストの全体を見る	高校(数Ⅱ)6【微分法と積分法】 とある男が授業をしてみた・プ... 再生リストの全体を見る



今回、SAH Journal で取り上げさせていただいたのは、葉一さんの『取組』が素晴らしい、すごい！ということをお知らせしたい！ということなのです。以下、葉一さんの取組の説明です。

『教育系 YouTuber として活動しており、教員とも塾講師とも異なる、第三の場所の次世代の教育者として注目されている。』

『動画では、基本的にテロップや効果音を含む編集は行っていない。また途中でミスがあれば最初から撮り直す方式で動画制作を行っている。その撮影手法から、動画の時間は平均 10 分程度に対して、撮影から投稿までは短くても 3 時間、長いときは 3 日費やすこともある。』

『なるべく疑問点を残さない授業を心がけており、内容としては繰り返し見ても飽きないように雑談をしないこと、仕組みなど概念よりも解法を教える、教える学年にあわせ話す速度と言葉遣いを大きく変える、内容に集中してもらうため地味な服装を心がけ結婚指輪も外す、塾講師時代に考案した男女両方に好まれる文字のフォントを用いる、ずれがないよう黒赤青の 3 色のペンを使って定規で一文字ずつ計りながら綺麗に板書することなどを意識している。』

中学時にはいじめも受けた。心に深い傷を負い、中学時代は辛いものだった。しかし、高校で恩師に出会う。その方の影響もあり、東京学芸大学を志す。そのときに偏差値を 20 も上昇させ、見事合格を勝ち取った。

大学にて小学校と中学校の教員免許を取得したものの、教育実習の際に事務作業の多さを見て、自分が思い描いていた、子供に精神的フォローをしたいという願望とのギャップを感じ、ストレートに教師になること以外の方法を模索しようと考えたため教師にはならなかった。

NPO 法人や起業家に付いて社会勉強を進めた。自分自身が一度社会に出る必要があると考え、また子供を精神的にフォローするためにはよりコミュニケーションスキルを高めたいと考え一番キツイ仕事として新卒で教材販売会社に入社し営業の仕事をした。家を一軒一軒まわって教材を売り込む仕事で、営業成績は微妙で、嫌がられたり怒られたり毎日鍛えられた一方、相手に伝わりやすい喋り方や声のトーン、目線の送り方、セールストークなどの仕事スキルを身につけられ、伝えたいことを相手に届けるノウハウも学べるなど YouTube で活動に活かした面も多い。

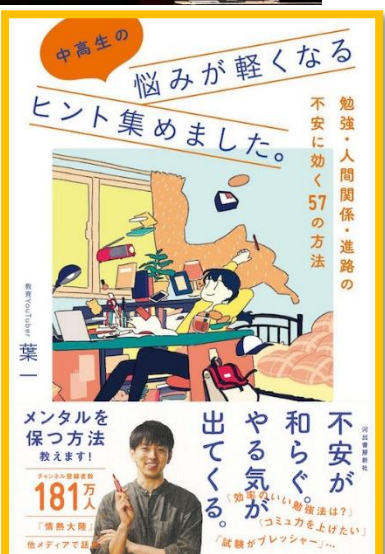
持病が悪化したため教材販売会社は 10 ヶ月ほどで退職した。その後は塾で働き始め、個別指導の塾講師として埼玉県内で複数の教室を持つようになった。

しかし、個別指導塾の月謝は高いため経済的に貧しい子供は塾に行くことができないという現状があり、そのような子供に何かできないかと考え、2012 年 6 月より YouTube にて授業動画を投稿し始めた。

いかがでしょうか？私が葉一さんの講演会を聞くのは 2 回目でしたが、どちらの講演会でも『自分の体験』からお話が始まります。そして、下の画像にもあるとおり、葉一さんの活動はこれまでの人生で受けた恩の『恩返し』だととらえていることをみなさんに伝えたかったです！これってひとつの『Agency』ですよ！葉一さんの生き方が、まさに『Agency』だと思ったのです！

# この人生を使って 子どもたちに 恩返しをしよう

みなさんの刺激にいただければ幸いです！彼の動画も見てみてください！彼の著書も読んでみてください！みなさんの役に立つことも彼の取組のひとつであるはず！みなさんのこれからのまきとよい影響となると確信しています！（文責 教頭 星野亨）



★校長より★ 今回の SAH Journal は YouTuber の葉一さんの紹介でした。葉一さんは、自身の経験などから「こういうことができるといい。」という理想があり、それと現実のギャップを埋めるために、手段の一つとして YouTube という方法を使用しました。葉一さんのすごいところは、理想と現実のギャップを嘆くのではなく、自身の力で解決すべき「課題」として本気で考えたところにあると思います。皆さんは学校生活や日常生活で、「自分の考える理想」と「現実」にギャップがありますか？もし、それを自身の力で本気で埋めようと考えたとき、それは皆さんにとって『Agency』を高めるチャンスとなると思います。 校長 原 拓史

\* 今回の記事は、葉一氏ご本人、および事務所マネージャーさんにも著作権等の確認をしていただき、ご承諾いただいております。